

第27回道新杯全十勝少年(U-11)サッカー大会 兼  
トラック協会杯 第25回全道少年団(U-11)サッカー大会十勝地区予選

開催要項

- 1 主 旨 北海道の少年サッカーレベル向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な少年を育成する。
- 2 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会・一般社団法人十勝地区サッカー協会・北海道新聞帯広支社  
公益社団法人北海道トラック協会・一般社団法人十勝地区トラック協会
- 3 主 管 一般社団法人十勝地区サッカー協会、十勝少年サッカー連盟
- 4 後 援 十勝教育局、帯広市教育委員会
- 5 協 賛 株式会社大阪フォトサービス
- 6 期 日 平成25年8月24日(土)・25日(日)・9月7日(土)
- 7 会 場 十勝川河川敷サッカー場
- 8 参加資格 ① 公益財団法人日本サッカー協会4種、日本スポーツ少年団に本年度登録されたチーム及び選手とする。参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入していること。  
② チーム編成は指導者4名、選手20名(交代要員12名)以内とする。  
③ 3級以上の公認審判員1名と4級以上の公認審判員1名を帯同させること。※14②参照  
④ 5年生の人数が14名を超える場合は複数チームの参加を認める。ただし、それぞれのチームにJFA公認指導者と所定の審判員を有するものとする。
- 9 競技規則 ① 本年度、公益財団法人日本サッカー協会8人制サッカー競技規則による。  
② 本大会期間中退場を命じられた選手は次の1試合に出場できない。  
(その後の処置は規律フェアプレー委員会にて決定する。)  
③ 本大会期間中警告を2度受けたものは次の1試合に出場できない。  
④ 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。  
⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。  
⑥ 交代して退いた競技者は交代要員となり再び出場することができる。回数は制限しない。  
⑦ その都度ただ一人の引率指導者のみが戦略的指示を与えることができる。
- 10 競技方法 ① 3チーム1ブロックの予選リーグを行い、各ブロック1位のチームが2ブロックの決勝トーナメントに進み、各ブロック優勝のチームが北海道大会への代表権を得る。  
② 勝ち点・得失点差・総得点・当該チームの戦績・抽選の順で順位を決定する。  
③ 決勝トーナメントにおいて勝敗がつかない場合は10分間の延長戦を行いなお決しない場合はPK戦(3名)により勝敗を決する。  
④ 試合時間は20分-7分-20分とする。  
ハーフタイムの7分は前半終了の笛から後半開始の笛までとする。  
⑤ ピッチサイズは68m×50mとする。  
⑥ 試合球は4号(公認球)とする。  
⑦ スパイクシューズは、危険を避けるため、取り替えポイントでないものとし、すねあてを着用すること。  
⑧ FP、GKとも同系色ではない2種類のユニフォームを持参すること。  
※ 競技方法は参加チーム数により変更あり。
- 11 参加申し込み先 参加料6,500円を連盟口座に**申込締切日までに振込の上**、所定のファイルに入力し下記電子メールアドレス先 ①草野康一、②宇野和哉 両方に送付すること。  
※ Emailaddress ①kk-g.best7@f1.octv.ne.jp ②monpy@sea.plala.or.jp  
☆ 申込締切～平成25年8月7日(水)  
(期限の過ぎたもの、所定のファイル以外での申し込みは受付しない。)
- 12 問い合わせ ※ 草野康一 携帯 090-1648-5844
- 13 監督会議 期日 平成25年8月17日(土) 19:00  
会場 とかちプラザ401講習室
- 14 審判運営 ① 3級以上の主審1名と副審2名を指名し割当て通り審判運営を行う。  
② 3級以上の公認審判員を帯同出来ないチームは、一日ごとに不帯同審判料5,000円を当協会に納入すること。  
③ 3級以上の公認審判員を確保できない場合は監督会議まで下記あてに申告すること。  
(社)十勝地区サッカー協会4種審判委員長 杉野全由(携帯 090-3112-3711)
- 15 その他 ① 選手資格に関し、その他不都合な行為があった場合そのチームの出場を停止する。  
② 選手証の確認を行う。(地区予選当日確認するため、写真貼付の上持参すること。)  
③ 全道大会:平成25年10月12日～10月14日:札幌地区